

なる様になる迄だ

下駄箱のところまで、くつすべり持ったままで
ぼーと立っていたその子の前まで行き、
僕は「おおきにな」と言った。

その子は、ニッコリした。

僕は「よかった」と思い、急いだ。

僕が皆の列に入ると同時に、
先生が、ガヤガヤするのを静めた。

生徒の代表が、店の人
お礼の挨拶をするところだ。

静かになった。

玄関からその子も出てきて、
他の女の人の間に並んだ。

僕はそれをこっそり見たら、
きよろきよろしている。

僕を探しているようだ。

僕らは、皆、制服で、皆、同じ様に見えて、
僕が見つかからないようだ。

挨拶が終わわり、順番にゾロゾロと
もと来た谷間の坂道を登りだした。